

戦時中の主な出来事

1937年	防空監視哨が御前崎・池新田に設置される
1939年	遠江射場が開設される
1941年12月8日	真珠湾攻撃
1942年4月18日	米軍機による初の日本本土空襲
1944年6月25日	白羽村に大型焼夷弾投下。非住家2棟、豚1匹、収穫した麦12俵、農具類全焼失
1945年1月9日	合戸に爆弾10個投下
2月15日	新野村に爆弾10個投下。子ども2人死亡
4月16、19日	御前崎灯台付近に焼夷弾多数投下
4月24日	蒲池に爆弾16個投下。3人死亡
6月17、18日	浜松空襲。市街地の70%消失
6月19、20日	静岡空襲。約1700人死亡
8月6日	灯台とその周辺に大型爆弾投下。灯台の屋根と付属建物、宿舍2棟大破
8月9日	艦載機が御前崎国民学校に襲撃。校舎と民家数軒に被害。防衛下士官1人死亡
8月10日	日向子海岸沖に爆弾投下
8月30日	白羽国民学校に機関掃射。全教室に被害。
8月28日	御前崎村稲荷山付近の畑地、民家に爆弾投下。2歳の子が死亡
8月25日	広島に原子爆弾が投下
8月23日	長崎に原子爆弾が投下
8月20日	稲荷山、カキ岩一帯に時限爆弾が投下され、処理で3人死亡
8月15日	戦争終結の詔書を放送



①写真上部が池新田の防空監視哨。上空の敵機を監視した②池新田のトーチカ③爆撃を受けた御前崎灯台。屋根付近が破損している④出征記念。兵隊に行くことが決まり、親族が神社に集まって健闘を祈った⑤大日本国防婦人会。日用品やお守りを入れるための慰問袋作り、家族慰問など、重要な役割を担った⑥新野の最勝防空壕。軽便（オット）が通っていた堀之内軌道のトンネルを防空壕として利用した

市内に残る 悲しい戦争の記憶

そして1945年8月15日、終戦。あまりにも多くの犠牲を払った戦争は、ポツダム宣言を受諾して無条件降伏の下、その幕を閉じました。

戦時中、睦浜（掛川市）と白羽までの海岸部に、砲弾の性能を試験する遠江射場が建設されました。射場には観測所（トーチカ）という、着弾を観測する施設が一里（約4千メートル）ごとに設置されました。発射場所から池新田までの距離は8千メートル。そのため、市役所南側の海岸付近の土地は「八千代」と呼ばれるようになったのです。このトーチカは、今もそのままの形で、白砂公園東側に残っています。

東京から遠く離れたこの地にも政府からの命令が下りました。出征はもちろんのこと、漁船が徴用され、丸腰の状態で最前線の海での監視や軍需輸送任務にあたり、犠牲になりました。

学校や民家などにも爆弾が落とされ、そのたびに住民は恐怖しました。どのような明日を思い描いて毎日を過ごしていたのでしょうか。戦争を知らない世代には想像も及びません。当時は「神州不滅」と教え込まれ、勝利の日を信じた。疑うことは許されなかったのです。